

ニュース

さよなら原発

第42号 2016. 3. 11



発行：さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：茨城県ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤英一（TEL：029-273-4775）

原子力規制委 高浜原発 1 号、2 号の審査に便宜 東海第二原発 運転延長・再稼働に 現実味

関西電力の高浜原発 1 号、2 号（福井県）

は、東海第二原発よりも 3、4 年古い原発です。これが新規制基準審査に合格（案）しました（2/24）。昨年 3 月申請後わずか 11 か月、先に申請していた他の原発をさしおき、超スピードの審査です。

背景に、この 2 基がすでに運転開始から 40 年を超えており、7 月 7 日までに運転延長の認可が下りなければ廃炉になるという急かされた事情があります（右表）。

古い原発は劣化が進みいっそう慎重に審査すべきなのに、電力会社は安倍政権の原発再稼働政策をよいことに、福島原発事故がなかったかのような態度です。

1970 年代に運転開始した 7 原発の審査申請
（古い原発の順）

運 転 開始年	原 発 名	運転期間延長問題		新規制 基準申 請時期
		認可 期限	申請 時期	
1974	高浜 1 号	今年	去年	去年 3 月
1975	高浜 2 号	7 月	4 月	
1976	美浜 3 号	今年 11 月	去年 11 月	
1977	伊方 1 号	未申請		
1978	東海第二	再来年 11 月	未申請	一昨年 5 月
1979	大飯 1 号	未申請		
	大飯 2 号			

東海第二原発は、上の 2 基が原発火災事故につながる燃えやすい

電気ケーブルの（防火シートで覆う条件で）継続使用を認められたことに力を得、また先行する上の 2 基の審査の状況からどうすれば審査にパスするか要領を学べる利点もあり、再来年（2018 年）11 月の運転延長・再稼働申請期限に余裕をもって備えているとみられます。

原子力規制委員長は、「審査に合格しても絶対に安全とは言えない。

再稼働を認めるか否かは政府と地元の判断」と繰り返しています。事実、再稼働した 4 原発のうち 2 基がトラブルに見舞われ、審査に合格しても危険なことが如実に示されています。

「（30 キロ圏内に）約 100 万人が住んでいる。逃げられない。原発はすぐに止めてほしい。」とみなさんが訴えています。

原発推進のアベ政治をやめさせ、

知事や市町村長が「廃炉を自由に言える」環境をつくる。

いよいよ市民 一人ひとりが、出番のようです。

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

ひたすらかきこ

東海第二原発への

声 声 声

皆さんの声・つがやき
お寄せ下さい。
TEL/FAX: 029-273-4775

講演会「原発をなくし、再生エネの爆発的普及へ」

講師 吉井 英勝氏（京大工学部原子核工学科卒・元衆議院議員 7 期）

期日 4 月 16 日（土） 13:30～16:00

会場 茨城県総合福祉会館・大研修室 水戸市千波 918

先着 150 名（資料代 500 円）どなたでもご参加できます。

* 吉井氏は 73 歳。原発に最も詳しい政治家。「安倍政権の原発推進政策」と「東海第二原発を廃炉にするための課題」を中心に話していただきます。

3 月の県議会・代表質問において

公明党・井手よしひろ県議、東海第二原発 40 年厳守を要求

（投稿者 荻 三枝子 さん 中根 3652-8 tel/fax 029-274-4529）

県議会で公明党の井手よしひろ議員が、東海第 2 原発について代表質問に立ち、知事に

- ・ 30 キロ圏内 96 万人の実効性ある避難体制を確立するのは不可能
- ・ 再稼働にかかる 700 億円超の投資を考えると「再稼働させずに廃炉」という選択が経済的にも合理的
- ・ 「原発立地」はマイナスのイメージしかない。原発を卒業した地域というイメージは茨城県県のイメージを大いに高める結果になる。という趣旨で運転 40 年厳守を要求しました。

これに対し、知事は、県外避難先との調整は 28 年度中に整えたいと回答した以外は、避難計画の実効性、及び稼働 20 年延長についての具体的な意見は述べませんでした。

（以上、傍聴にて）

稼働中の高浜 3,4 号機の運転差し止めの仮処分が出ました。30 キロ圏内に 96 万人も住む東海第 2 原発に関し、住民の命を預かる県知事として、再稼働、20 年延長には断固として拒否の意志を示していただきたいと思います。

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？



1) 単位は $\mu\text{Sv/h}$ （マイクロシーベルト毎時）。

* 「2011 年の原発事故」前は $0.05 \sim 0.02 \mu\text{Sv/h}$ 。

2) 測定器は HORIBA PA1000 Radi；測定者は正治。

2016 3/5 土 東海村村松 JAEA 原子力科学研究所「南通用門」標識を南に 6m の地点の歩道、高さ 1m のところ。昨年あった松並木は、今は消失していますが、地面に落下した放射性物質で放射線が高い様です。

研究所の正門付近の立派な松並木の下は今年も高い値を示しました。

ところで、この道路は、朝夕の出退勤時や行楽期には大渋滞。そのとき、原発事故が起きたらどうなるか？ やっぱり原発は廃炉にするしかない。